



家の串方面から望む武尊山(群馬県片品村)
(提供者:片品村むらづくり観光課)



武尊牧場三合平のレンゲツツジ

武尊山山麓は、そのほとんどが国有林となっており、北麓は武尊自然休養林として約1,400haのブナ、シラカンバなどの広葉樹林が優れた自然景観を呈し、西麓及び東麓にはキャンプ場やスキー場が数多く設けられているなど、四季を通じて地元住民はもとより首都圏からの利用者が訪れています。

また、武尊山の自然が育んだ湧き水は、「平成の名水百選」として認定されるなど生活にも欠かせないものとなっています。

利根沼田森林管理署は、今後とも、こうしたすばらしい自然を後世まで守りつつ、国民から支持され楽しんでいただけるよう、安全で快適なレクリエーションの場として利用の推進を図りたいと考えています。

(利根沼田森林管理署広報広聴連絡官)

武尊山(2,158㍎)は、群馬県北部の片品村、川場村及びみなかみ町に雄大な裾野を張り巡らせてそびえ立っており、北アルプスの穂高岳と区別するために、上州武尊山と呼ばれています。

武尊山は沖武尊(2,158㍎)を主峰とし、前武尊山(2,039㍎)、剣が峰(2,008㍎)など、2,000㍎級の峰が山頂部を形成するコニデ形の火山です。

名前の由来は、日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征のおり、山頂に登ったという伝説からきており、武尊山頂手前には日本武尊像が建てられています。

武尊山には3コースから登ることができ、山頂からは谷川連峰を始め、尾瀬の山々、日光白根山、ハヶ岳、北アルプスなど360度の大大パノラマが堪能できます。

特に、武尊牧場コースは、6月中旬から下旬にかけて群馬県の天然記念物に指定されている15,000株のレンゲツツジの大群落が咲き誇り、多くの登山者を楽しませてくれます。



日本武尊(やまとたけるのみこと)像



映画「眠る男」ロケ地の登山道